

8-4. 図形の配置-1

図形(電気設備シンボル)の配置-補足

図形配置の補足です。

「作図属性」ボタンを押すと「作図属性設定」ウィンドウが表示されます。

通常は「書込み【線色】で作図」にチェックするだけでかまいませんが、例えば別途工事などの関係で図形を点線や破線で配置したい場合があります。その時には、この設定内の「書込み線種で作図」にもチェックを入れ、前項8-3(2)の7.で行った設定に戻り、線色と共に線種も選択してください。

回転角をメニューより選択(ボタンを押すと表示)または、任意の角度を直接入力することで基準点を中心に図形を回転することができます。(反時計回り)

ここでは「90」を選択していますので a.のように元図形が90°回転した状態で仮表示されています。

また、b.の「90°毎」ボタンを押すことでも回転することができます。

図形 「ファイル選択」ウィンドウの表示について。
(表示されている図形はKim Grossa様が作成された「denzuq」という電気図部品集を使用させていただいております。)

「ファイル選択」ウィンドウの図形一覧は拡大・縮小できます。

A.では5列・4行の計20個の図形が表示されています。

B.では3列・3行の計9個の図形が表示されています。

(増)・(減)ボタンをクリックする毎に各所の数が変わり、上図～右図のように図形の表示数が変わります。